

# 令和2年度 事業計画書

自令和2年4月1日 至令和3年3月31日

公益財団法人 克念社

## 1. 人材の養成に関する育英事業(公益目的事業1)

この事業は、克念社が創立して以来、現在まで継続している事業である。

現在、累計で貸費生総数は1,269名。若葉奨学基金給付生は7名。

### (1) 令和2年度新規貸費生と貸費学資金について

令和2年度の応募者数は現貸費生で大学院などに進学する2名を含み、合計7名と例年に比べ半分ほどであった。国の学生支援機構の受入れ基準が緩やかになり、そちらに多く流れたのが原因のようである。

令和元年12月6日に貸費生選考委員会を開き、応募者全員を希望額通り内定することとした。結果、新規採択者は、7名(月額4万円3名・同2万5千円4名)を予定しており、継続者39名で貸費生は計46名の予定である。

この貸費学資金は、金1,884万円となる。

|            |           |                    |
|------------|-----------|--------------------|
| (内訳) 新規採択者 | 年30万×4名＝  | 1,200,000円         |
|            | 年48万×3名＝  | 1,440,000円         |
| 継続者        | 年30万×14名＝ | 4,200,000円         |
|            | 年48万×25名＝ | <u>12,000,000円</u> |
| 合計         | 46名       | 18,840,000円        |

### (2) 令和2年度若葉奨学基金給付生について

風間若葉様からの遺贈を特定資産とし、これを原資に給付型の奨学金を創設して4回目の募集を行った。令和2年度の実応募者は7名(うち貸費生との併願は4名)。こちらも例年に比べて半数を割る応募数となった。

貸費生選考に引き続き、給付生選考を行い、1名を第一志望校合格を条件として内定した(合格発表は2月中旬予定)。継続者は6名で、条件を満たせば計7名になり、来年度の給付金額は、金168万円となる。

### (3) 応募者増員の対策について

選考委員会で相談し、各学校の担当の先生に聞き取りをした結果、現在の応募時期と応募期間を見直す予定である。三者面談の行われる夏よりも前に応募要項を出し、応募期間を現在より長くすることを検討している。現在、概ね10月の1ヶ月間を募集期間としているが、6月から10月末までの5ヶ月間を募集期間とする案を検討中である。

### (4) 令和2年度貸費資金入金見込額について

当年度の貸費資金入金見込額は2,500万円の予定である。

## 2. 文化財の維持・管理および公開事業(公益目的事業2)

(1) 重要文化財「丙申堂」と登録有形文化財「無量光苑釈迦堂」の維持・管理および公開にあたっては内容の充実に努め、二つの文化財をセットとして有機的に結び付ける。

(2) 令和2年4月より職員を1名増員する。まずは、「丙申堂」及び「無量光苑釈迦堂」の公開業務を担当の予定。

(3) 「丙申堂」の屋根の葺き替えは、2025年の実施を目途に予定している。そのための準備を、昨年からはじめた杉皮の採取も含め進める。

(4)「丙申堂」と「無量光苑釈迦堂」の入館者数は、この数年減少傾向にあったが、平成31年度は吉田サチ子氏のキルト展もあり、冬期休館に入る前の11月末では昨年と比べて、丙申堂、釈迦堂ともに増加している。令和2年度は東京オリンピックが開催され、海外から多くの人々が日本を訪れることが予想される一方、新型コロナウイルスの影響等も注視しつつ、インバウンドにも引き続き対応する。

(5) イベント、企画展示について

- ・4月1日(水) お雛様展示中に“篠笛演奏会”。

仙台の山口流家元山口千壽氏がNHK文化センターで講師をされており、その生徒さんも参加した演奏会。

- ・4月中旬 海坂の桜小祭り

- ・5月18日(月)あるいは19日(火) 夜のジャズライブ

松本健一氏からアメリカのアーティストとのライブ会場として丙申堂板の間を希望

- ・7月中旬 海坂の芭蕉小祭り 展示と俳句会

- ・令和3年3月 鶴岡雛物語 お雛様展示

(6) 丙申堂の東側、鶴岡信用金庫本店との間の聖徳太子光寿無量堂を有形文化財に登録するため、昨年11月に文化庁の調査官に見ていただいた。その際①移築前大工町にあった頃の写真がないか、②大正時代に屋根を葺替えた時の棟札がないか、とご指摘を受けた。棟札は、天井裏から見つかった。写真については、数点あるもののはっきりしたものが少ないので、引き続き探している。文化庁や県及び市の教育委員会との対応や資料作成等について、ご専門の澤田享評議員にご協力いただきながら、登録作業を進める。

### 3. 山林を活用した地球環境保全事業(公益目的事業3)

(1) 豊かな自然を持つ里山に親しみながら、山林を愛する心を育むと共に、森林を保全するために必要な山の仕事に対する理解を深めることを目的とし、親子で参加する森林体験学習会を春と秋の2回開催する。平成31年度では参加者集めに苦労したので、令和2年度は地元紙などに募集記事をだして参加者を募りたい。

(2) 山林の整備は例年同様、外部に委託し、管理費としては従来の実績を踏まえつつ、山林整備に努める。

(3)「丙申堂」の杉皮葺石置屋根葺き替えのため、昨年に引き続き杉皮を採取する。

### 4. 土地、建物の貸与事業(収益事業)

(1) 基本財産の土地は、(株)庄交コーポレーション等に賃貸している。また、運用財産の内、本町1丁目の土地・建物は、(株)NHK文化センターに賃貸している。令和2年度も継続予定で、安定した賃貸収入により公益目的事業の遂行を図る。

(2) 日本仏教研究のため、東京大学文学部印度哲学仏教学研究室に対し行っている助成、及び日本仏教史研究講座、特に聖徳太子講座開設等の運用資金として、公益財団法人中村元東方研究所に対する助成については、例年通り令和2年度も収益事業の中で継続する。そのため研究費として予算100万円を計上する。